

環境を守るエキスパートを目指す。

して広い視野を持ちながらも専門分野を深く極めた人材を送り出していきたいと考えています。

本研究科は、持続可能でよりよい社会を築くための人材として、地球環境科学分野における「モリスト×エキスパート」を養成することを教育目標としています。その実現のために、地球環境科学と地球・地域の環境問題に関心を持ち、その解決に意欲を持っている方、また、入学後の学びに必要となる基礎学力と関連分野に関する知識を持っている方の入学をお待ちしています。入学後は全学的な奨学金制度の他に、論文投稿等助成制度、学会発表交通費補助、研究費補助制度などの研究科独自の経済的支援を受けることもできます。地球環境科学は今でも発展中の若い学問であり、確立した唯一の学問体系があるわけではありません。入学された方々には、それぞれの専攻の各専門分野に軸足を置きながらも、狭い分野に閉じこもることなく、周辺分野も取り込んだ新たな学問体系を作っていくくらいの気概を持って取り組んでくれることを期待します。

地理空間システム学専攻

Graduate Course in Geographical Space Systems

人文地理学・自然地理学・地理教育・地理情報科学の各分野から構成される地理学系の専攻です。人文地理学分野は、総合的な視点から地域の実態をとらえ、地域社会への貢献を目指しています。自然地理学研究分野は地形・水文・気候等の側面から地域環境の諸相をとらえます。地理教育と地理情報科学の各分野は、地図・地理空間情報・衛星画像処理等に関する高度な技能習得と、教育現場への効果的な導入方法を学んでいきます。

- 人文地理学研究分野
- 自然地理学研究分野
- 地理教育研究分野
- 地理情報科学研究分野

博士後期課程	定員3名
博士前期(修士)課程	定員8名

学位	博士後期課程	博士前期(修士)課程
	博士(地理学)	修士(地理学)
論文例	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的陶磁器業の地域的存立基盤に関する地理学的研究 日本における生シイタケ産地の形成と変容 東北地方における港湾の外国貿易機能の変容と後背地との関係 中国内モンゴル自治区赤峰市におけるモンゴル民族と漢民族の共存形態の地域的差異 ソ連・ロシアにおける工業の地域的展開一体制転換と移行期の工業立地変容一 日本における醤油醸造業地域の形成と地方産地の存立形態 地域医療計画策定手法の開発と検証 三宅島火山災害に対する行政機関の対応行動に関する地理学的研究 関東地方における野菜生産地域の統合と分化の過程 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼怒川中流域左岸の若宮戸から水海道の区間に見られる微高地の形態 高度経済成長期以降の熊谷駅を中心とした乗合バス路線網の変容 都市観光地における言語環境の特徴一東京都台東区浅草地区を事例として一 多摩川中流域における都市化地域の地域用水システム降雨によって発生する大規模崩壊の特徴一埼玉県熊谷市大高山を例に一 東アジアにおける気候と前線帯が南西諸島の冬季気候に及ぼす影響 地理教育における地理空間情報の活用と教材開発 妙正寺川流域の開発と土地利用の変化過程一住宅地形成の視点から一
進路	<ul style="list-style-type: none"> 立正大学地球環境科学部 沖縄国際大学経済学部 大阪産業大学人間環境学部 鹿児島県立短期大学商経学科 厚生労働省福岡検査所 中国 浙江林業大学 (一財)日本地図センター 水城高等学校教諭(茨城県) 	<ul style="list-style-type: none"> 立正大学大学院、中国・南京郵電大学、跡見女子学園中学校・高校教諭、和洋九段女子高校教諭、富士見中学校・高校教諭、鹿児島県立高校教諭、秋田県立高校教諭、栃木県庁、長井市役所、上尾市役所、東武トップアース(株)、東京カートグラフィック(株)、横浜市立小学校教諭、東京都立小学校教諭、(株)読売旅行、国立青少年教育振興機構、島原半島ジオパーク協議会

2024年度 入試要項

博士前期(修士)課程のA日程入試に推薦入試が導入されています。

学内外を対象とした推薦型の入試制度です。詳細は大学院学生募集要項もしくは入試説明会でご確認ください。

募集人員

- 博士後期課程
 - 環境システム学専攻 定員4名
 - 地理空間システム学専攻 定員3名
- 博士前期(修士)課程
 - 環境システム学専攻 定員10名
 - 地理空間システム学専攻 定員8名

入試区分

- ・一般入試
- ・推薦入試
- ・社会人入試
- ・外国人留学生入試

出願資格

大学院学生募集要項を参照してください。

受験料 35,000円

大学院学生募集要項請求先

立正大学入試情報サイトからダウンロードしてください。



出願期間および試験日・試験場

出願期間
 A日程:2023年 7月1日(土)~7月7日(金)
 C日程:2024年 1月9日(火)~1月22日(月)
 いずれも必着(B日程は実施しません)

試験日
 A日程:2023年 7月16日(日)
 C日程:2024年 2月10日(土)

試験場
 立正大学熊谷キャンパス
 アカデミックキューブ(19号館)内
 〒360-0194
 埼玉県熊谷市万吉1700
 TEL:048-539-1630(直通)

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の掲載内容を変更する場合があります。変更が生じた際は、入試情報サイトに随時公表いたします。出願にあたっては、必ず入試情報サイトおよび学生募集要項にて最新情報をご確認ください。

●入試情報サイトURL: http://www.ris.ac.jp/examination_information/

立正大学大学院 地球環境科学研究科

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700
 TEL 048-539-1630
 FAX 048-539-1632
 E-mail geo@ris.ac.jp

2024年度入試説明会など実施予定等詳細は本研究科HPをご確認ください。



試験科目

- 博士後期課程
 - A日程、C日程(一般・社会人・外国人留学生入試)
 - 環境システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地球環境科学
(地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学)
地球環境情報学の各分野の設問より選択解答
 - 口頭試問
修士論文の内容・入学後の研究計画・その他
 - 地理空間システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地理学
 - 口頭試問
修士論文の内容・入学後の研究計画・その他
- 博士前期(修士)課程
 - A日程(推薦入試)
 - 環境システム学専攻・地理空間システム学専攻
 - 口頭試問(卒業論文内容・入学後の研究計画・志望分野の専門的知識および英語)
 - A日程、C日程(一般・社会人・外国人留学生入試)
 - 環境システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地球環境科学
(地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学)
地球環境情報学の各分野の設問より選択解答
 - 口頭試問
卒業論文の内容・入学後の研究計画・その他
 - 地理空間システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地理学
 - 口頭試問
卒業論文の内容・入学後の研究計画・その他

- 博士前期(修士)課程
 - A日程(推薦入試)
 - 環境システム学専攻・地理空間システム学専攻
 - 口頭試問(卒業論文内容・入学後の研究計画・志望分野の専門的知識および英語)
 - A日程、C日程(一般・社会人・外国人留学生入試)
 - 環境システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地球環境科学
(地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学)
地球環境情報学の各分野の設問より選択解答
 - 口頭試問
卒業論文の内容・入学後の研究計画・その他
 - 地理空間システム学専攻
 - 外国語
 - 英語(辞書使用可)
ただし、外国人留学生は外国語試験を実施せず、日本語能力試験および日本語試験(日本語)の成績で評価
 - 専門
 - 地理学
 - 口頭試問
卒業論文の内容・入学後の研究計画・その他

立正大学大学院

Graduate School of Rissho University

2024



地球環境に関する諸現象の本質に迫る

地球環境科学研究科

Graduate School of Geo-environmental Science

<http://ris-geograduate.jp/>

環境をみる確かな目を養う

環境システム学専攻

Graduate Course in Environment Systems

地域社会への貢献を目指す

地理空間システム学専攻

Graduate Course in Geographical Space Systems

環境をシステムとしてとらえ、



地球環境科学研究科 研究科長 岡村 治

立正大学地球環境科学研究科は、地球の様々なレベルの主体-環境系を相互に関係をもつシステムとしてとらえる視点を重視して、その実態を科学的に明らかにし、地球や地域の環境問題の解決に貢献できる人材の育成を目指しています。本研究科の2つの専攻の目指すところは同じですが、基礎としている学問や研究手法には違いもあります。地理空間システム学専攻は、地理学を基礎として人文科学を含めた総合的視点で地域の実態をとらえるのに対し、環境システム学専攻は、環境科学を基礎として自然科学的手法で地球環境をとらえます。これらの性格の異なる2つの専攻が1つの研究科を構成している相乗効果によって、地球環境科学の新たな枠組みを作り出すとともに、本研究科の特色を活か

環境システム学専攻

Graduate Course in Environment Systems

人は、大地、大気、水、種々の生物の存在なくしては生存し続けることはできません。人の生存を脅かす環境悪化、環境汚染は今、どのように進行しているのでしょうか。どうすれば防げるのでしょうか。環境システム学専攻の地圏環境、気圏環境、水圏環境、生物圏環境、環境情報の5研究分野は、各専門性を生かしつつ、有機的連携のもとに、創造性があり、かつ社会的ニーズにも応えられる「夢とアイデアのある環境科学者の育成」を目指しています。

博士後期課程	定員4名
博士前期(修士)課程	定員10名

- 地圏環境学研究分野
- 気圏環境学研究分野
- 水圏環境学研究分野
- 生物圏環境学研究分野
- 地球環境情報学研究分野

学位	博士後期課程	博士前期(修士)課程
	博士(理学)	修士(理学)
論文例	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海の拡大に伴う関東北縁部マグマ活動の変遷 ・高分解能SARデータによる水田の利用形態の分類および水稲の生育量・収量の推定 ・中国伊洛河盆地の地下水流動系の解明とその保全について ・足尾山地北部古峰ヶ原高原における岩塊堆積地形の形成と最終氷期後半以降の地形プロセス ・乾燥地における土壌の生成と劣化のメカニズムに関する研究一新疆ウイグル自治区を例として一 ・植物季節に及ぼす都市の温暖化の影響一埼玉県熊谷市を例として一 ・茨城県恋瀬川流域における水収支および物質収支に関する研究 ・被験者実験に基づいた様々な温湿度環境下での温冷感に対するUTCi温熱指標の応答特性に関する研究 ・埼玉県神川町渡瀬および周辺地域における浅層地下水の水質とその形成プロセス ・アンモニア存在下のメタンハイドレートの高圧安定性一土星衛星タイタンの内部構造の推定一 ・Sentinel-2を用いた湖沼のクロロフィル濃度分布の推定に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県佐渡島における完新世初頭以降の環境変遷に関する花粉分析学的研究 ・韓国, Goseong地域の火山岩の実験岩石学 ・富山平野のフェーン発現時にみられる富川一神通川(谷筋)における地上大気場の特徴 ・関東平野北西部における夏季猛暑の出現メカニズムに関する研究 ・水田地域を流域とする河川水中の重金金属の挙動と負荷源に関する研究 ・被験者実験に基づいた様々な温湿度環境下での温冷感に対するUTCi温熱指標の応答特性に関する研究 ・埼玉県神川町渡瀬および周辺地域における浅層地下水の水質とその形成プロセス ・アンモニア存在下のメタンハイドレートの高圧安定性一土星衛星タイタンの内部構造の推定一 ・Sentinel-2を用いた湖沼のクロロフィル濃度分布の推定に関する研究
進路	<ul style="list-style-type: none"> 立正大学地球環境科学部 東京学芸大学観光教育実践施設 常磐大学コミュニティ振興学部 独立行政法人国立環境研究所 独立行政法人防災科学技術研究所 一般社団法人電力中央研究所 埼玉県 東和科学株式会社 株式会社北社地質センター 	<ul style="list-style-type: none"> 立正大学大学院、千葉大学大学院、北海道大学大学院、中国科学院大学大学院、牛久自然観察の森、埼玉県立高校教諭、八洲学園国際高校教諭、埼玉県立中学校教諭、朝日エン지니어リング(株)、アールシーソリューション(株)、(株)エクサ、国際航業(株)、(株)サイオン、(株)高見沢分析化学研究所、(株)西原ネット、ハイテックシステム(株)、東日本旅客鉄道、富士ソフト(株)、(株)ライフビジネスウェザー、(株)土木管理総合試験所、(株)ブレイク研究所、(株)パスコ、いであ(株)、川崎地質(株)

